

原っぱをまとう休憩所



大人と同じ目線で海を眺める

原っぱと呼応する緑の屋根

既存の琉球石灰岩の柱が緑の風景によくなじむ

外部からの目線を程よくカット

草花遊びで自然と触れ合う

子供を見守りつつ、風景を楽しむ

築山を登る小道の整備

ぐるぐる歩ける小道の整備

プロローグ

平和祈念公園の南側、霊域ゾーンの最奥にあるこの場所において、ここに至るまでの道中、その重たい歴史と向き合い続ける中で、訪れた人々、特に子供達が、ほんの少しだけ解放される「子供達の心が休まる場所」を計画する必要があると考えました。

設計趣旨

「子供の休憩」とは「大人の休憩」とは少し違い、座って景色を眺めていることよりも、走り回ったり、草花といった自然と触れ合ったり、大人から離れて散歩してみたり、小さな遊びが効果的だったりします。

今回、そんな小さな遊びがあふれる場所として「原っぱをまとう休憩所」を考えてみました。

「草花あふれる原っぱ」と、「緑をまとった建築物」、その両方がシームレスに融合した空間の中、自然に抱かれながら遊ぶことで、少しの時間だけでも、子供の心が『戦争という重圧』から解放をさせてくれる場所を提案します。



位置図

遊具等があるが霊域ゾーンから歩いて20分以上

平和祈念資料館等平和学習の場

平和武典のメイン会場平和の礎など

戦没者墓苑など敷地はこの場所の最奥にある

※ゾーン名称は平和祈念公園のパンフより

ダイアグラム

①既存の建物の要素を残しつつ、②構造的に不安な部分を無くし、③回遊性をつくりだし、④敷地内全体で緑化を施す改修計画を提案いたします。

■撤去

- ・既存の屋根を撤去
- ・回遊性を生むため石堀を一部撤去、ベンチを撤去

■新設（外構）

- ・築山と回遊性のある小道を整備
- ・子供を見守りながら景色を眺められる休憩スペースを整備

■新設（建築）

- ・HPC レシプロカル構造の屋根を新設
- ・屋根の上は植栽ユニットにて緑化を施す

■既存＋新設

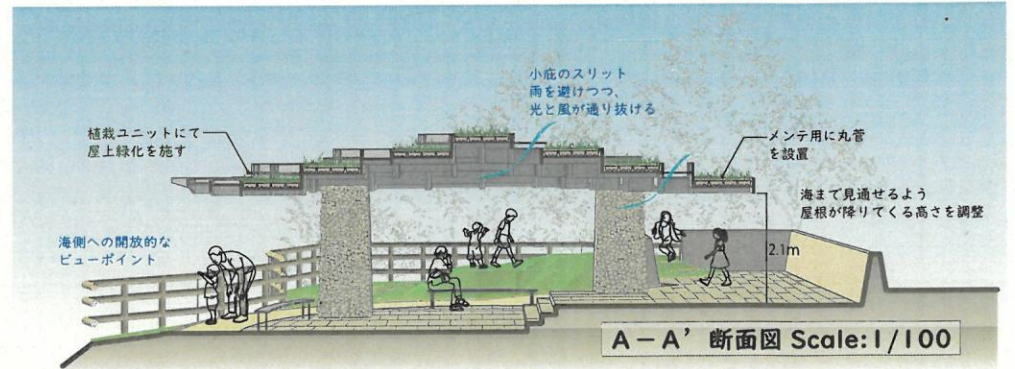
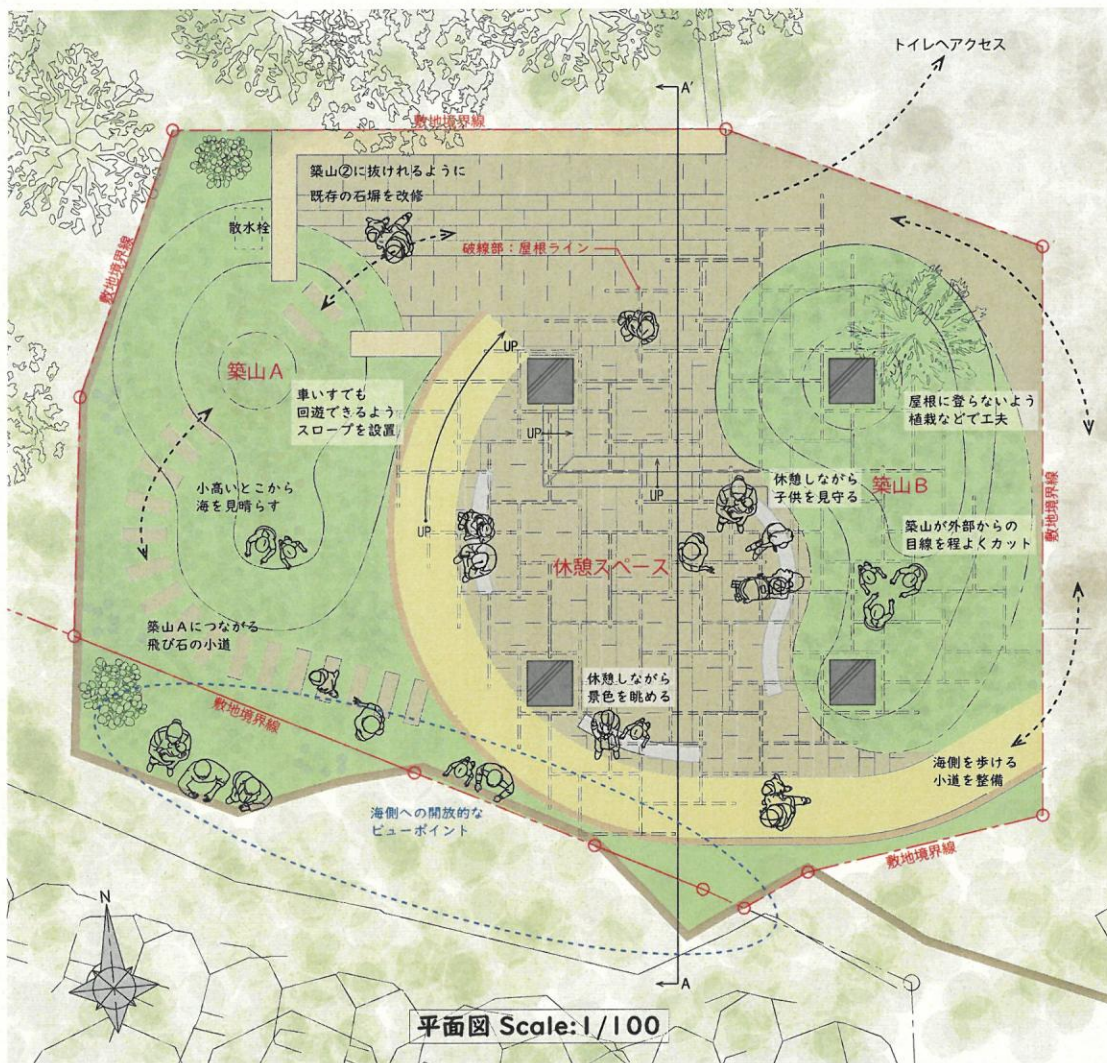
- ・敷地全体が原っぱをまとった休憩所となる



撤去部イメージ

新設部イメージ

完成系イメージ



構造計画

既存東屋の耐震性向上と高耐久化（塩害対策）を目的とした構造計画を提案します。

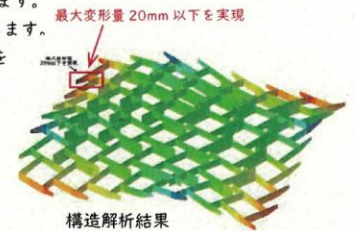
■軽量化（耐震）：重い既存 RC 屋根・梁を撤去し、地震時の負担を大幅に軽減します。

■新設屋根：軽量化で塩害に極めて強いコンクリート部材である「HPC」を薄板梁として採用します。

■架構形式：短い部材を互いに支え合う「レシプロカル構造」を用い、効率的で意匠性の高い屋根を架けます。

（※既存柱は現行の耐震基準で安全性を厳密に検証します。）

この計画は、屋根の軽量化（耐震性）、HPC（高耐久性）、レシプロカル構造（意匠性）を合理的に同時実現するものです。



植栽計画

- ・草花遊びができるような植物の選定を検討します。
- ・日陰には日影を好む植物を検討します。
- ・屋上緑化は灌水不要の植栽ユニットを採用し、枯れに強い植物を選定します。



植栽管理について

- ・基本、灌水不要の植栽計画とするが、夏場の枯れ対策として、散水栓を設置し、ホースで散水できるようにいたします。
- ・屋上は年に1～2回程度メンテナンスできるよう、脚立で登れるようにし、転落防止としてハーネスのロープを止めることのできる丸管を屋根に設置します。

コストコントロール

- ・屋根だけをつくりかえることで、建物にかかるコストをなるべく抑えます。
- ・外構は既存の施設を極力残し、活かす形で生まれ変わらせる計画とします。
- ・既存建物から出た廃材をなるべく再利用し、廃材を敷地外に極力搬出しないような計画を目指します。

